

2019/2/24 (日) 9:30 ~ 12:30
at 鎌倉女子大学

鎌倉の未来について考え、 行動するためのワークショップ

第4回 共創活動アイデアを探索する



セッションの目的

明日の鎌倉、10年後の鎌倉、百年後の鎌倉。

—ともに考え、ともに創る人、募集—

鎌倉市のありたい姿を描く

本日の進め方

1

9:30-10:00

市民対話の目的や進め方を共有する

イントロダクション / これまでの市民対話の振り返り

2

10:00-11:15

アイデアを広げる

チームづくり / ブレインストーミング / ドット投票 /
アイデアの評価

3

11:15-12:30

プロジェクトアイデアをまとめる

クイックプロトタイピング / プロジェクトアイデアを応援しあう /
チェックアウト / クロージング

1. 市民対話の目的や進め方を共有する

- ・ イントロダクション / これまでの市民対話の振り返り

Introduction



鎌倉市
共創計画部
政策創造課
中山 秀樹さん

鎌倉市
共創計画部
政策創造課
伊藤 沙織さん

伊藤さん「みなさん、おはようございます。
『鎌倉の未来を考え、行動するためのワーク
ショップ』もいよいよ第4回、今回が最終回
ですね。今日もよろしくお願いします」

中山さん「これまでみなさんと一緒に、鎌倉
の未来をどうしたいかということを考えてき
ました。その過程で出てきたアイデアが、第
4期基本計画の策定にどのように使われてい
るのかをご報告します。
実際には、いまは計画に盛り込もうとしてい
る最中です。たとえば、第1回対話で『鎌倉
大学からノーベル賞！新しい大学誘致の成果』
というアウトプットがでてきましたよね。
それをそのまま盛り込むと、『鎌倉はだいが
攻めたまちだな！』ということになるかと思
うのですが、さすがに、そのままのかたちで
は盛り込まず、エッセンスを取り入れるよう
にしています。
つまり、このアイデアに込められた**“子ども
たちの未来につながる教育を大切にするま
ち”**という部分を抜き出す、など。このよう
にアイデアに込められたいろいろな想いから、
キーワードやエッセンス、ニーズなどを取り
出させていただいています」

伊藤さん「未来の鎌倉を考えるために、みな
さんの意見を参考にさせていただいてるの
ですが、鎌倉はさらに、世界が目指す**SDGsの
指標も第4期基本計画に取り入れようとして
いる**んですよ。

社会、経済、環境のすべての好循環を目指す
SDGs。どれかひとつではなく、3つともよ
いという状態を目標にしています。

第2回のセッションでは、このSDGsを意識
しながら、2030年の鎌倉を描いていただき
ました。

そして、第3回は、そんな未来の鎌倉を実現
するための問いをみんなで考えました」

中山さん「第4回の今回は、いよいよ具体的
なアクションをまとめていきたいと思います。
新しいアイデアを実現するのは簡単なこと
ではないかもしれませんが、**みんなで未来を想
像してわくわくしながら、一緒に考えて取り
組んでいきたい**と思います。

それでは、今日もよろしくお願いします！」

社会・環境を支え、けん引する経済とは？

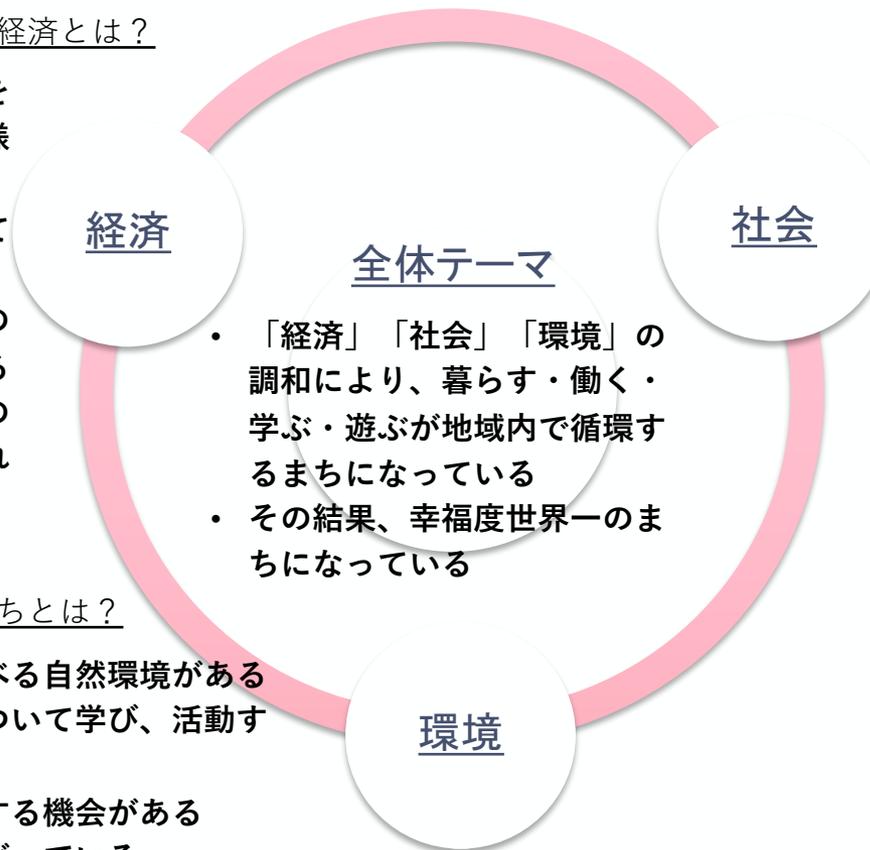
1. 地域経済を循環させる起業を促進する仕組みがあり、多様な人が活用している
2. 地域内で経済循環が生まれている
3. 鎌倉の資源を促進するための他地域との交流が増えている
4. このような仕組みが鎌倉発のモデルとして世界に認知されている

自然と文化に触れ続けられるまちとは？

1. 障害等の有無に関係なく遊べる自然環境がある
2. 鎌倉市にある自然や文化について学び、活動する機会にあふれている
3. 異文化について学び、交流する機会がある
4. 地産地消が環境保全につながっている

ありたいご近所関係とは？

1. 地域通貨の活用など、お互いさまの関係で助け合いが促進されている
2. 多世代・多文化共生の関係で、差別もなく交流が活発になっている
3. 鎌倉内にある人材や物資や自然などの資源に気づき、活用しあえている
4. 鎌倉市で働く人たちや起業家の横のつながりがご近所関係になっている
5. 地域参画型の学校教育が実現できている



これまでの市民対話の振り返り

- ・ 第2回市民対話の成果から、2030年鎌倉市のありたい姿として、「経済」「社会」「環境」の3つの観点ごとに、上述の要素が抽出された。

- **鎌倉エリア**：どうすれば、住んでいて心地よい鎌倉にできるだろうか？
- **鎌倉エリア**：どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？
- **鎌倉エリア**：どうすれば、ストレスなく鎌倉で過ごせるだろうか？
- **鎌倉エリア**：どうすれば、空き家を使って事業を運営したい人が生み出せるだろうか？
- **鎌倉エリア**：どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？
- **腰越エリア**：どうすれば、子供・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？
- **深沢エリア**：どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？
- **大船エリア**：どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？
- **大船エリア**：どうすれば、フリーランスの若者や外国人などが簡単に家を借りられるだろうか？
- **玉縄エリア**：どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？
- **エリア横断**：どうすれば、鎌倉の居住区の新しい魅力を作り、発信できるだろうか？
- **エリア横断**：どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子供たちに見せたいだろうか？
- **エリア横断**：どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？

これまでの市民対話の振り返り

- ・ 第3回市民対話では、2030年鎌倉市のありたい姿に向けて共創を生み出す「問い」がアウトプットされた。

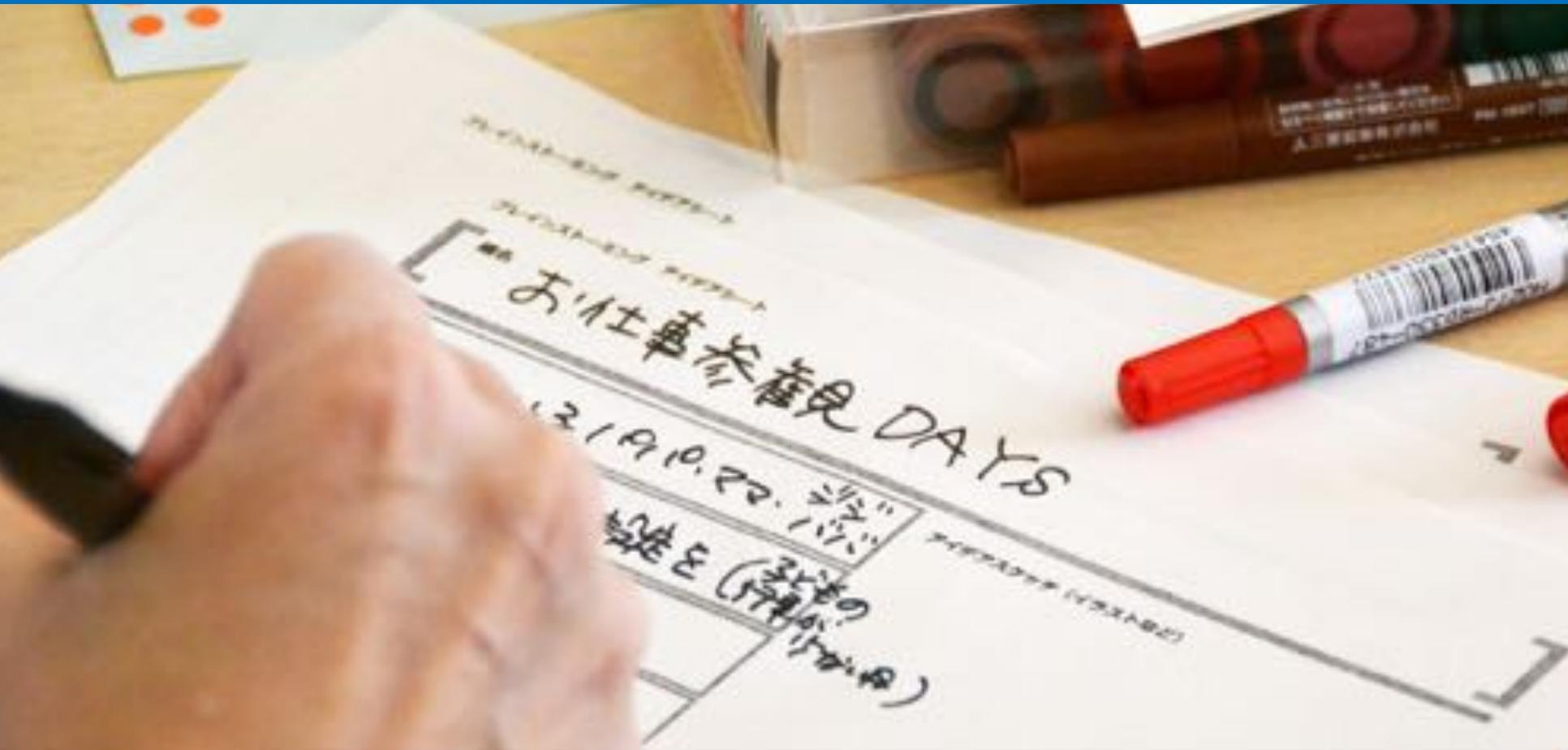
2. アイデアを広げる

- ・ チームづくり / ブレインストーミング / ドット投票 / アイデアの評価



チームづくり

- ・ 第3回で生まれた共創を生み出す「問い」のうち、関心のある問いごとに集まり、チームを作る



ブレインストーミング

- 問いに応えるアイデアをチームでたくさん出す
- 題名、だれ?、いつ?、どこ?、なにを?、アイデアスケッチ



ドット投票

- 出されたアイデアのうち、ぜひ実行したいと思うものに1人3票で投票



アイデアの評価

- 2票以上の票が入ったアイデアについて、実現性（高い・低い）と有効性（高い・低い）の2軸で評価

3.プロジェクトアイデアをまとめる

- ・ クイックプロトタイピング / プロジェクトアイデアを応援しあう / チェックアウト / クロージング

クイックプロトタイピング

- ・ チームでプロジェクトアイデアをまとめる
- ・ プロジェクトアイデア名、プロジェクト概要、目的、成果物、成功の基準、活動エリア



プロジェクトを応援しあう

- すべてのプロジェクトアイデアシートを貼り出し、応援したいものをクラウドファンディング形式で支援（支援金額・協力できること・応援メッセージを付箋に書いて貼る）



＜共創を生み出す問い＞

どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？

＜プロジェクトアイデア要約＞

フリースペースを提供したい人と使いたい人をスマホアプリでつなげ、市民の「やりたい」を身近な開かれた場所では実現すると同時に、地域の人をつながりをつくる

活動エリア

- ・ 鎌倉

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

- ・ フリースペース（駄菓子屋など）

だれと？

- ・ スペースを使いたい人
- ・ スペースを提供したい人

何をしようとしているのか？

- ・ スペースを使いたい人やスペースを提供したい人がスマホアプリで会員登録
- ・ スペースを使って、朝市やコンサート、寺子屋、映画上映会などを実施
- ・ 会場となるフリースペースは誰でも開かれた場所で、コーディネーターがいる（駄菓子屋のような場所）

目的

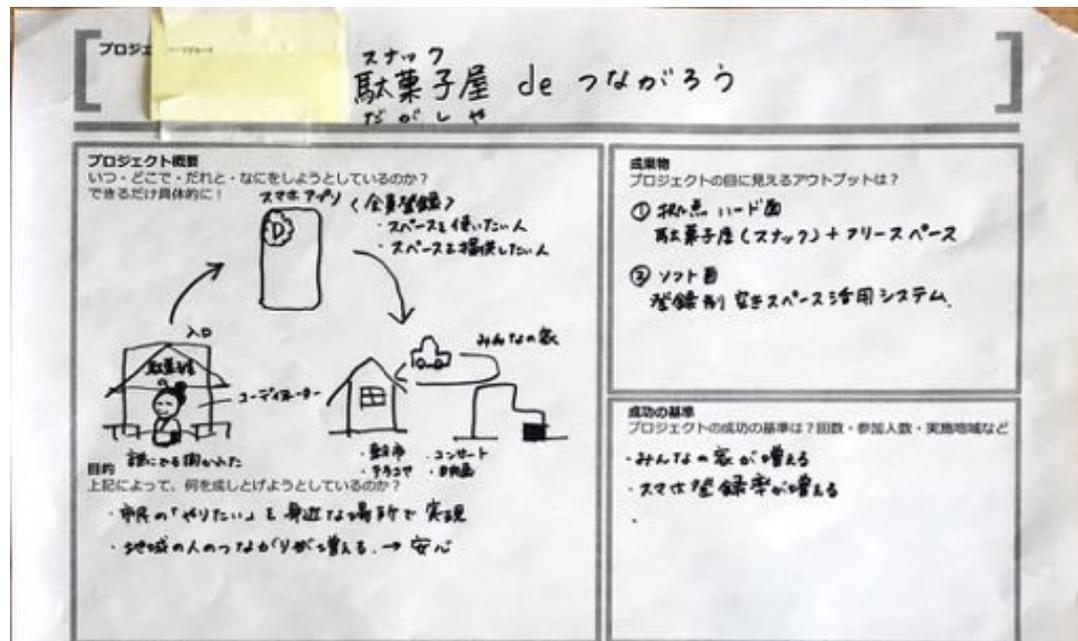
- ・ 市民の「やりたい」を身近な場所で実現する
- ・ 地域の人をつながりが増え、安心な地域にする

成果物

- ・ ハード面：駄菓子屋（スナック）やフリースペース
- ・ ソフト面：登録制空きスペース活用システム

成功の基準

- ・ 会員システムの登録率が増える
- ・ みんなの家が増える（システムが頻繁に利用される）



<共創を生み出す問い>

どうすれば、地域の中に人が集まりたくなる開かれた安全な場所を作れるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

フリースペースを提供したい人と使いたい人をスマホアプリでつなげ、市民の「やりたい」を身近な開かれた場所で実現すると同時に、地域の人をつながりをつくる

<鎌倉>

駄菓子屋

de

つながろう

▶
こんな支援の声が
挙がりました！



<共創を生み出す問い>

どうすれば、子供・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

食品ロスの課題解決を目指す食堂を空き家活用や居抜きでつくり、食や本の読み聞かせなどを通じて世代間交流を行う



活動エリア

- ・ 腰越
- #### プロジェクト概要
- いつ？
どこで？

- ・ 空き家や居抜きの居酒屋
だれと？

- ・ 調理師
- ・ 地元のおばあちゃん
- ・ 腰越の地域住民
- ・ 腰越に訪れる観光客

何をしようとしているのか？

- ・ 1食100円の食品ロス食堂
- ・ 持ち寄りの本をおいて「小さな図書館」機能を持たせる
- ・ 紙芝居や読み聞かせ、戦争体験の共有などを行う

目的

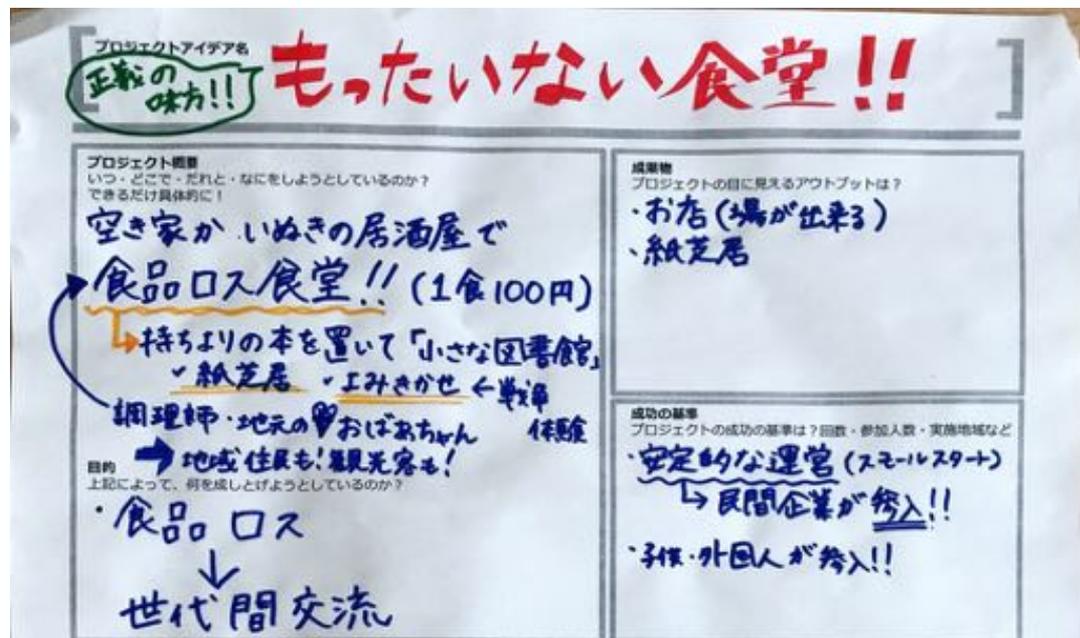
- ・ 食品ロスの課題解決を通じて、世代間交流を生む

成果物

- ・ お店（場ができる）
- ・ 紙芝居

成功の基準

- ・ スモールスタートで、安定的な運営
- ・ 民間企業・子ども・外国人が運営に参画する



<共創を生み出す問い>

どうすれば、子供・地域住民・観光客・移住者・行政を含めて多世代の交流の場を作れるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

食品ロスの課題解決を目指す食堂を空き家活用や居抜きで作り、食や本の読み聞かせなどを通じて世代間交流を行う

<腰越>
もったいない食堂



こんな支援の声が
挙がりました！



<共創を生み出す問い>

どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

子どもから高齢者まで幅広い年代の市民が参加できる音楽フェスを毎年開催し、好きなことを通じて人とつながり、活動を発信できる場をつくる



活動エリア

- ・ 深沢

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 2020年～2030年

どこで？

- ・ 体育館から始めて、フェスのようにだれと？

- ・ 市民、シニアサークル、学生
- ・ 企業
- ・ 鎌倉にゆかりのあるミュージシャン

何をしようとしているのか？

- ・ 音楽フェス
- ・ 出店
- ・ オンラインコミュニティ

目的

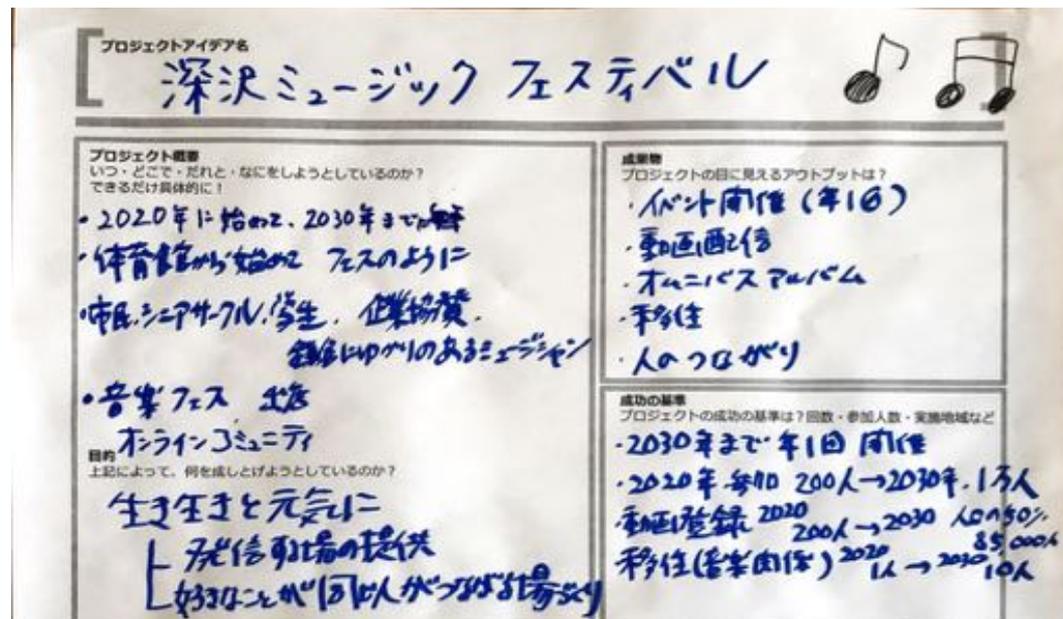
- ・ 生き生き元気に発信する場の提供、好きなことが同じ人がつながる場づくり

成果物

- ・ イベント開催（年1回）
- ・ 動画配信、オムニバスアルバム
- ・ 移住、人のつながり

成功の基準

- ・ 2030年まで年1回開催
- ・ 参加者：2020年200人→2030年1万人
- ・ 動画登録：2020年参加者200人→2030年人口の50%
- ・ （音楽関係の）移住：2020年参加者1人→2030年人口の10人



<共創を生み出す問い>

どうすれば、鎌倉に関わる人が生き生きと元気に深沢で過ごせるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

子どもから高齢者まで幅広い年代の市民が参加できる音楽フェスを毎年開催し、好きなことを通じて人とつながり、活動を発信できる場をつくる

<深沢>

深沢ミュージック
フェスティバル



こんな支援の声が
挙がりました！

<共創を生み出す問い>

どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

大船在住の小中高大学生が中心になって文化祭のようなお祭りを毎年開催し、
地域の中でのつながりを増やし、地域への愛着を育む



活動エリア

- ・ 大船

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 10月～11月にかけて、年1回

どこで？

- ・ 大船中学校、鎌倉女子大

だれと？

- ・ 大船在住の小中高大学生（主催者）

- ・ 企業、お店、一般の大人

何をしようとしているのか？

- ・ 食べ物（大船軒や富岡商店など企業の参加）
- ・ 展示（コンテスト）
- ・ 催し物（地域の懇談会）
- ・ 演劇（大船高校）

目的

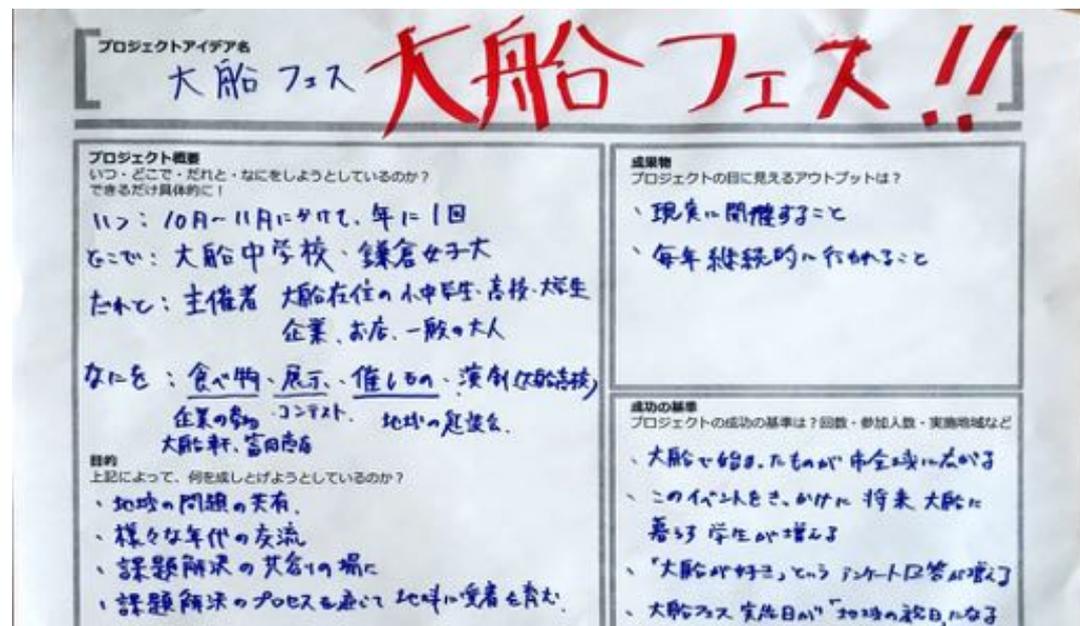
- ・ 地域の問題の共有
- ・ 様々な年代の交流
- ・ 課題解決の共創の場、課題解決のプロセスを通じて地域に愛着を育む

成果物

- ・ 現実に開催すること
- ・ 毎年継続的に行われること

成功の基準

- ・ 大船で始まったものが市全域に広がる
- ・ このイベントをきっかけに将来大船で暮らす学生が増える
- ・ 「大船が好き」というアンケート回答が増える
- ・ 大船フェスの実施日が地域の祝日になる



<共創を生み出す問い>

どうすれば、地域への愛着・地域性を育む学校教育プログラムができるだろうか？

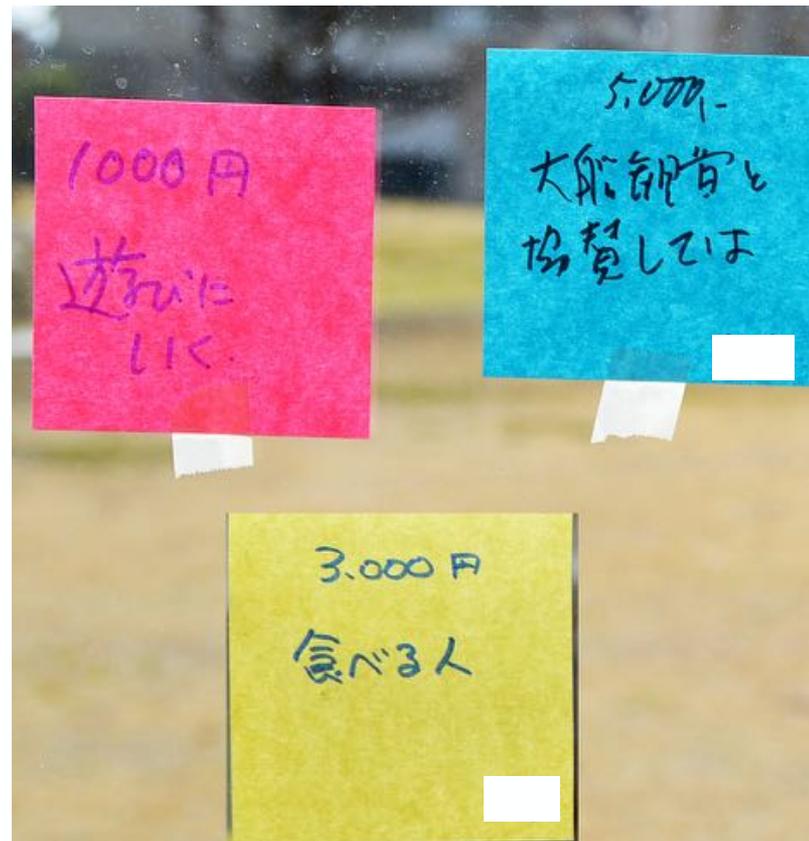
<プロジェクトアイデア要約>

大船在住の小中高大学生が中心になって文化祭のようなお祭りを毎年開催し、
地域の中でのつながりを増やし、地域への愛着を育む

<大船>
大船フェス



こんな支援の声が
挙がりました！



<共創を生み出す問い>

どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

3000~4000人の居住地域一つの単位として、生活時間帯にショッピングセンターや幼稚園、介護施設などをまわり、市民の足となるようなバスルートをつくる



活動エリア

- ・ 玉縄

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 昼間、生活時間帯

どこで？

- ・ 住宅居住地域、3000~4000人を1単位
- ・ 玉縄・関谷エリア

だれと？

- ・ 子育て世代、高齢者、障がい者
 - ・ バス会社
 - ・ ショッピングセンター、幼稚園、介護施設、福祉施設
- 何をしようとしているのか？

- ・ 交通手段の改善で地域の居住性を高める

目的

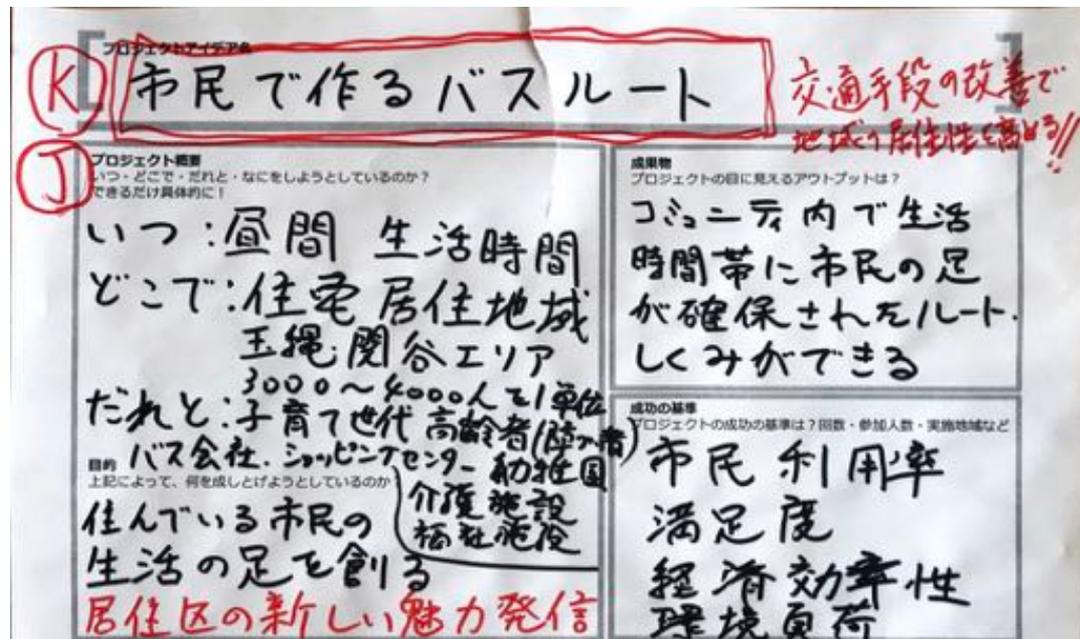
- ・ 住んでいる市民の生活の足を創る
- ・ 居住区の新しい魅力発信

成果物

- ・ コミュニティ内で生活時間帯に市民の足が確保されたルート・仕組みができる

成功の基準

- ・ 市民利用率
- ・ 満足度
- ・ 経済効率性
- ・ 環境負荷



<共創を生み出す問い>

どうすれば、玉縄に世代を超えて地元住民と外の人が集まる場を作れるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

3000~4000人の居住地域一つの単位として、生活時間帯にショッピングセンターや幼稚園、介護施設などをまわり、市民の足となるようなバスルートをつくる

<玉縄>

市民で作る
バスルート



こんな支援の声が
挙がりました！

<共創を生み出す問い>

どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

空き家オーナーと空き家を使いたい人をマッチングするツアーを定期開催し、
鎌倉市内の空き家の利活用を促進する



活動エリア

- ・ 鎌倉市内全域

プロジェクト概要

- いつ？
- どこで？
- ・ 鎌倉市内
- ・ インターネット上

- だれと？
- ・ 空き家オーナー（貸しても良いと思っている人）
- ・ 空き家を使いたい人

- 何をしようとしているのか？
- ・ インターネット上で空き家情報や空き家利活用事例を集める
- ・ 空き家利活用事例物件や、貸しても良い空き家物件を見学する
- ・ ワークショップによるマッチングを行う

目的

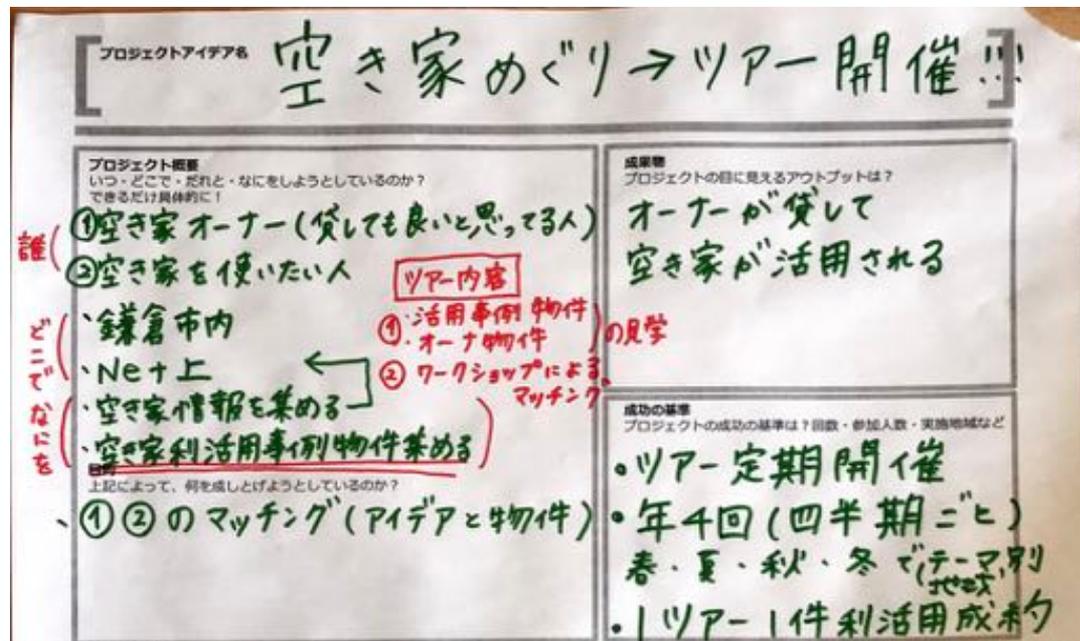
- ・ 空き家オーナー（空き家）と空き家を使いたい人（アイデア）のマッチング

成果物

- ・ オーナーが貸して空き家が活用される

成功の基準

- ・ ツアーの定期開催（四半期ごとに年4回、テーマ・地域別）
- ・ 1ツアー1件の利活用成約



<共創を生み出す問い>

どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

空き家オーナーと空き家を使いたい人をマッチングするツアーを定期開催し、
鎌倉市内の空き家の利活用を促進する

<鎌倉全域>
空き家めぐり
ツアー



▶
こんな支援の声が
挙がりました！

<共創を生み出す問い>

どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

世界中のアーティストに鎌倉市内の空き家を活用してもらい、空き家から新しい鎌倉の文化を発信し、アートのあるまちにする



活動エリア

- ・ 鎌倉市内

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

だれと？

- ・ 世界中のアーティスト
- ・ 空き家オーナー

何をしようとしているのか？

- ・ アーティストに空き家を活用してもらう
- ・ 鎌倉をアートのあるまちにする

目的

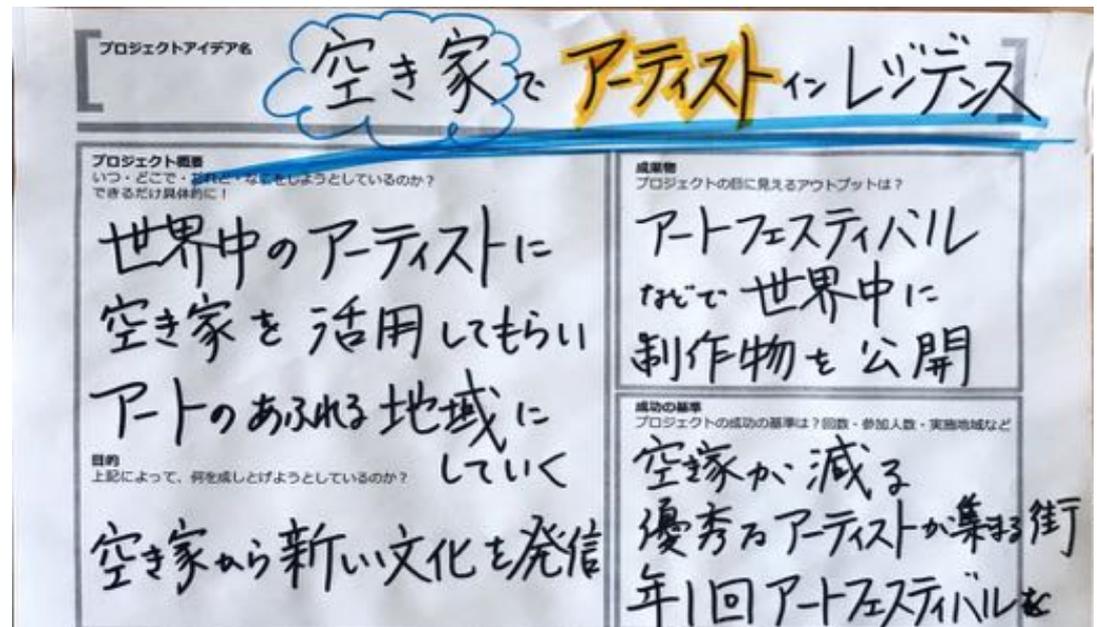
- ・ 空き家から新しい文化を発信する

成果物

- ・ 滞在したアーティストがアートフェスティバルなどで世界中に制作物を公開

成功の基準

- ・ 空き家が減る
- ・ 年1回アートフェスティバル開催
- ・ 優秀なアーティストが集まるまちになる



<共創を生み出す問い>

どうすれば、空き家オーナーに空き家活用の良さを伝えられるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

世界中のアーティストに鎌倉市内の空き家を活用してもらい、空き家から新しい鎌倉の文化を発信し、アートがあふれるまちにする

<鎌倉全域>
空き家で
アーティスト・
イン・レジデンス



こんな支援の声が
挙がりました！



<共創を生み出す問い>

どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子供たちに見せたいだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

SDGsが達成された鎌倉の未来の姿を壁画に描くワークショップを開催。その壁画を市役所ロビーなど開かれた場所に展示し、訪れた市民がさらに加筆することで、多くの市民とまちのビジョンを共有する



活動エリア

- ・ 全市横断

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

- ・ 市役所ロビー
だれと？

- ・ イラストを描ける人
・ 市民

何をしようとしているのか？

- ・ 鎌倉でSDGsが達成されたらどんなまちになるのか壁画に描くワークショップを実施し、成果物を市役所ロビーに展示・加筆してもらう
- ・ 地下道ギャラリーでも展示
- ・ モニュメント化して展示
- ・ 更新を続ける

目的

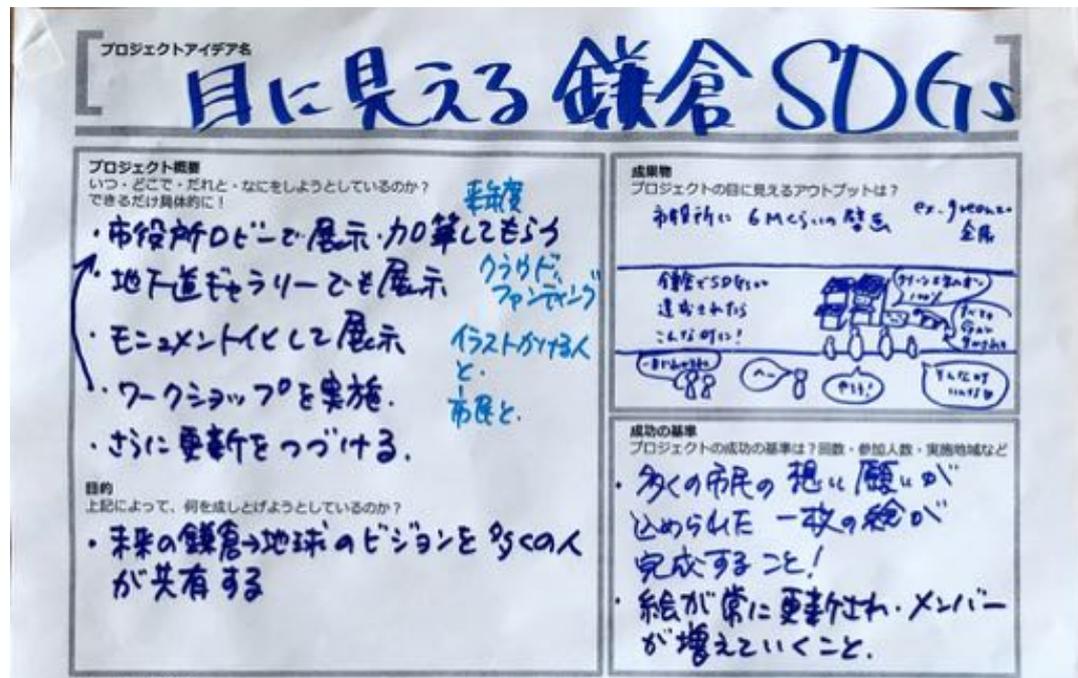
- ・ 未来の鎌倉・地域のビジョンを多くの人々が共有する

成果物

- ・ 市役所に6mくらいの壁画

成功の基準

- ・ 多くの市民の思い・願いが込められた1枚の絵が完成すること
- ・ 絵が常に更新され、メンバーが増えていくこと



<共創を生み出す問い>

どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子供たちに見せたくなるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

SDGsが達成された鎌倉の未来の姿を壁画に描くワークショップを開催。その壁画を市役所ロビーなど開かれた場所に展示し、訪れた市民がさらに加筆することで、多くの市民とまちのビジョンを共有する

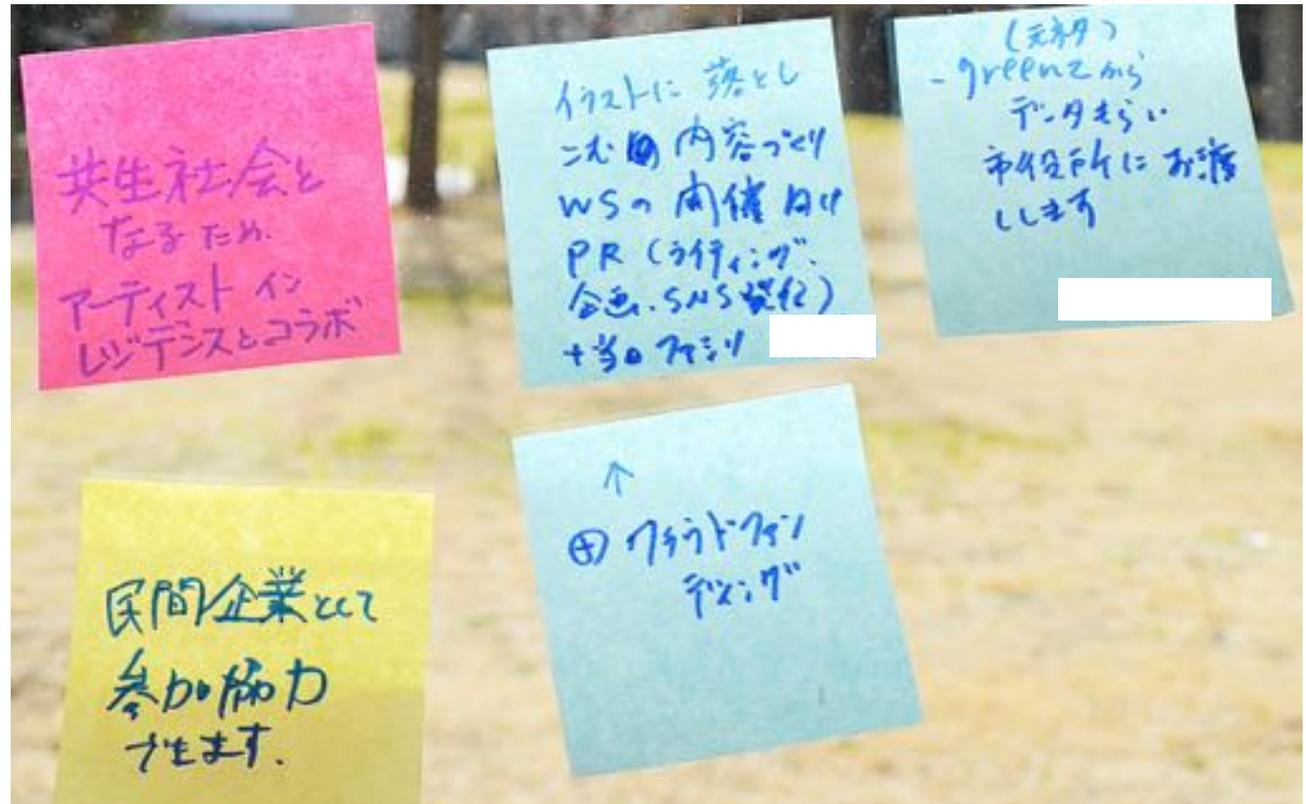
<鎌倉市内全域>

目に見える

鎌倉SDGs



こんな支援の声が
挙がりました！



<共創を生み出す問い>

どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子供たちに見せたいだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

子どもたちが鎌倉市のことを考える「子ども幕府」を立ち上げ、子ども幕府の代表者が市議会に参加する

鎌倉市内全域

市議会

子ども参加DAY

～7世代先の

鎌倉のために

活動エリア

- ・ 全市横断

プロジェクト概要

いつ？

どこで？

だれと？

- ・ 鎌倉市
- ・ 鎌倉市議会
- ・ 教育現場

何をしようとしているのか？

- ・ (子どもの) 議会参加
- ・ 子ども幕府立ち上げ

目的

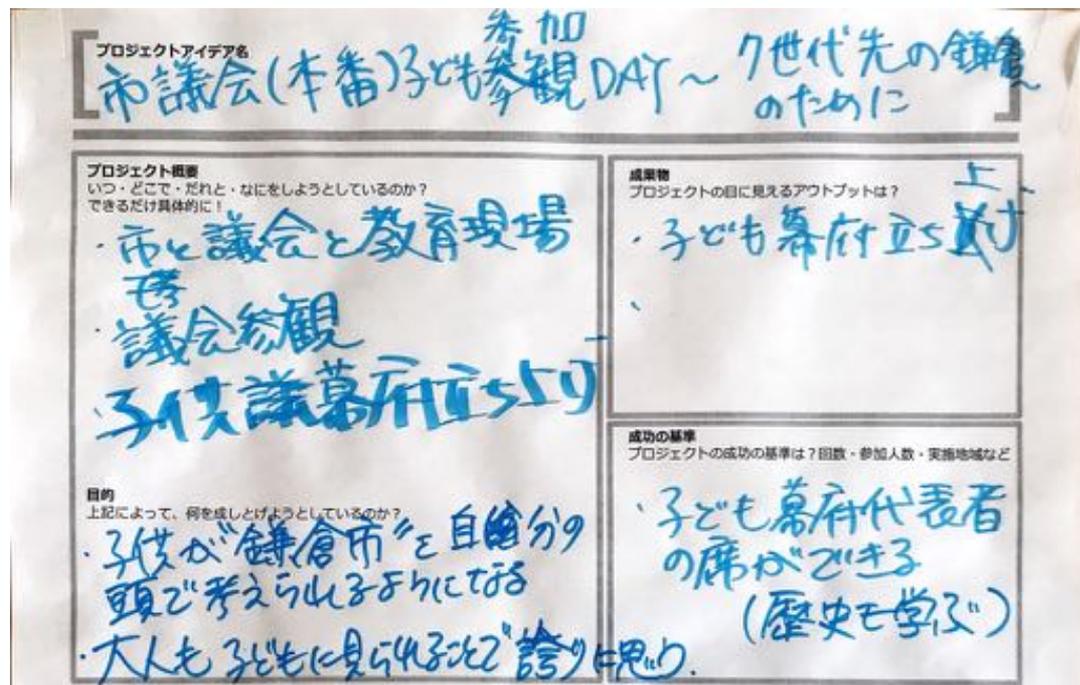
- ・ 子どもが「鎌倉市」を自分の頭で考えられるようになる
- ・ 大人も子どもに見られることで誇りに思う

成果物

- ・ 子ども幕府の立ち上げ

成功の基準

- ・ 子ども幕府代表の席ができる (歴史も学ぶ)



<共創を生み出す問い>

どうすれば、あなた（大人）の生きている姿を子供たちに見せたいだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

子どもたちが鎌倉市のことを考える「子ども幕府」を立ち上げ、子ども幕府の代表者が市議会に参加する

鎌倉市内全域

市議会

子ども参加DAY

～7世代先の

鎌倉のために



こんな支援の声が
挙がりました！

<共創を生み出す問い>

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加できるようになるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

自宅を出発し、地域のチェックポイントをまわり、自分の避難所でゴールする
防災イベントを年1回開催することで、市民が避難所まで1人で行けるようにすると
ともに、防災意識を高める

活動エリア

- ・ 今泉台

プロジェクト概要

いつ？

- ・ 町内会のお祭り、イベント

どこで？

- ・ 自分の住む町内会・自治会エリア

だれと？

- ・ 防災委員
- ・ 町内会役員、自治会役員
- ・ 市内NPO、市内企業

何をしようとしているのか？

- ・ 自分の家を出てから地域のチェックポイントを回り、ゴールは自分の避難所
- ・ 自分の避難所の場所を覚える
- ・ SDGsバッジや市内で使える防災ポイントなど、ノベルティで参加促進

目的

- ・ 避難所まで1人で行けるようになる
- ・ 防災意識を高める「はじめの一歩」、防災訓練参加に繋げる

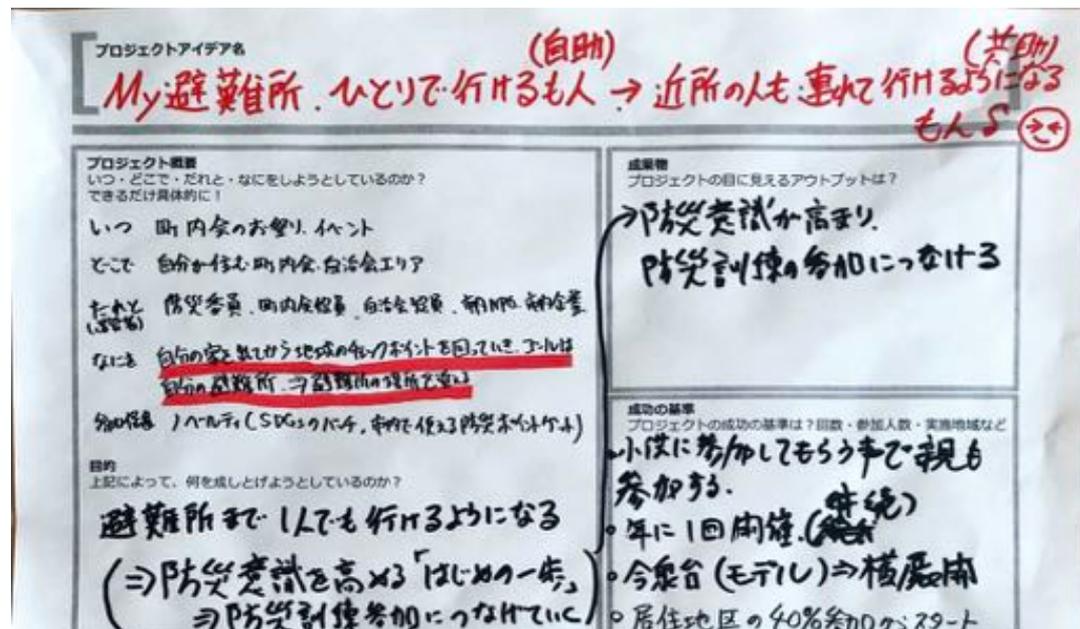
成果物

- ・ 防災意識が高まり、防災訓練の参加につなげる

成功の基準

- ・ 子どもが参加することで親も参加
- ・ 年に1回開催
- ・ 今泉台から始め、横展開される
- ・ 居住地区の40%参加からスタート

<鎌倉市内全域>
My避難所
～一人で行けるもん。
近所の人も連れて行ける
ようになるもん♪



<共創を生み出す問い>

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加するようになるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

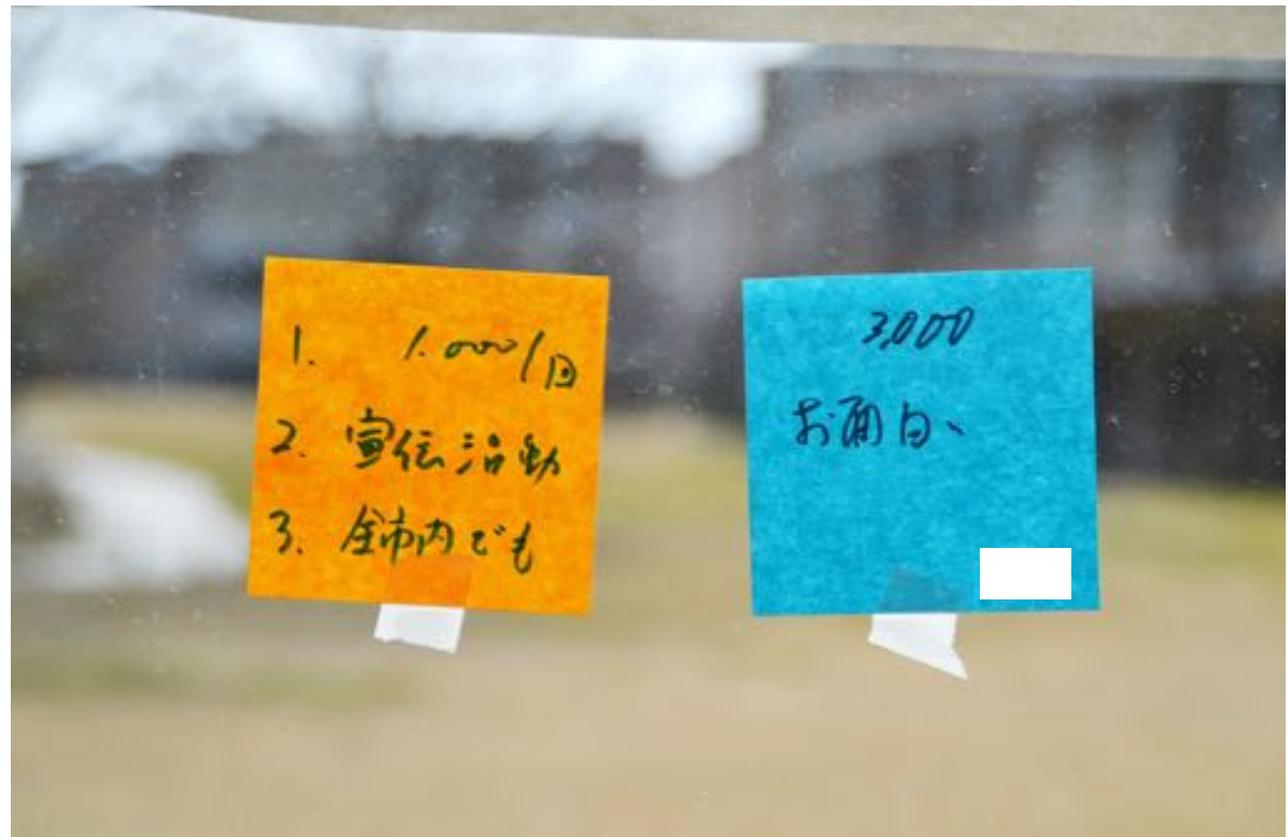
自宅を出発し、地域のチェックポイントをまわり、自分の避難所でゴールする
防災イベントを年1回開催することで、市民が避難所まで1人で行けるようにすると
ともに、防災意識を高める

<鎌倉市内全域>

My避難所

～一人で行けるもん。
近所の人も連れて行ける
ようになるもん♪

▶
こんな支援の声が
挙がりました！



<共創を生み出す問い>

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加できるようになるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

鎌倉を4地区に分け、それぞれの地区ある学校で、夏休みに小中高校生とその家族、町内会防災部が協力して宿泊型の避難訓練を行い、より多くの人に参加してもらうと同時に地域のつながりをつくる



活動エリア

- 鎌倉市全域
- プロジェクト概要

いつ？

- 夏休み

どこで？

- 鎌倉の4地区

だれと？

- 小中高校生とその家族
- 町内会防災部

何をしようとしているのか？

- 炊き出し、宿泊、障害者の理解など

目的

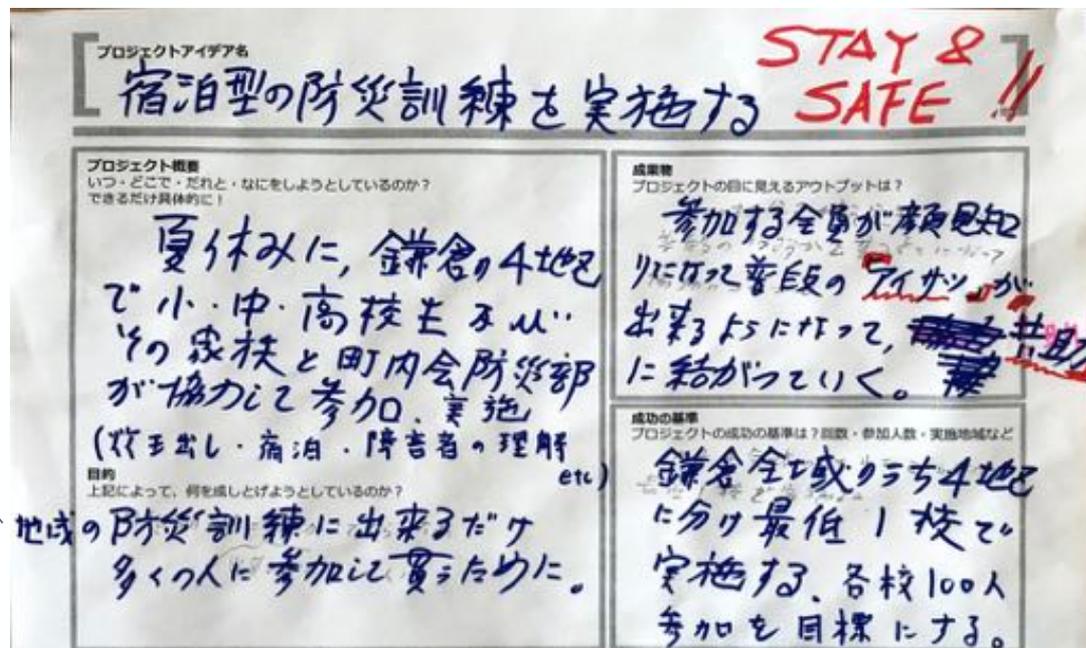
- 地域の防災訓練にできるだけ多くの人に参加してもらう

成果物

- 参加する全員が顔見知りになって普段の「挨拶」ができる関係になり、地域の結びつきができる（共助）

成功の基準

- 鎌倉全域を4地区に分け、それぞれ最低1校で実施
- 各校100人参加を目標とする



<共創を生み出す問い>

どうすれば、鎌倉市民全員が防災訓練に参加できるようになるだろうか？

<プロジェクトアイデア要約>

鎌倉を4地区に分け、それぞれの地区ある学校で、夏休みに小中高校生とその家族、町内会防災部が協力して宿泊型の避難訓練を行い、より多くの人に参加してもらおうと同時に地域のつながりをつくる

<鎌倉市内全域>

宿泊型の

防災訓練

STAY&SAFE



こんな支援の声が
挙がりました！





チェックアウト

- ・ この市民対話で生まれた共創関係が今後どうなってほしいか、2人組で対話
- ・ 各自の想いを付箋に書いて貼り出す



2019. 2. 24

鎌倉の未来について考え
行動するためのワークショップ